

3年生 単元名 「火事からまちを守る」

授業記録

11月 10日 3校時

3年 松組 授業者 加村 麻衣

教師の発問・支援	子供の活動・発言等
<p>この間、消防団について勉強しましたね。見学に行って、岡さんにお話を聞きましたね。そこの振り返りを読んでください。</p> <p>協力して、守ってくれていましたね。そんな板野町の火事の件数のうつりかわりを見てみましょう。</p> <p>板野町の火事の件数は？減っていましたね。もう一つ、勉強しました。</p> <p>火がついてから全焼するまで何分？</p> <p>そんな板野町の火事でも全焼が起っています。</p> <p>2004年、何件？</p> <p>11件、火事が起っているのだけどその中で全焼は？</p> <p>三択です。①9件？②5件？③2件？</p>	<p>火事をどのように防いでいるかを調べました。点検はとても大切だと思いました。</p> <p>消防団の人たちはどのようにして火事を防いでいるか分かりました。消防団の岡さんが教えてくれたように、消防団の人たちの仕事は全部大切なんだなと思いました。</p> <p>今日の学習で、消防団の人たちはたくさんの人と協力しているんだなと思いました。</p> <p>10分</p> <p>11件</p>

<p>正解は全焼したのはなんと2件なんです。どう？</p> <p>2件すごいなあ。でも火事は2件起こってしまっているんだね。</p>	<p>① 10人くらい②10人くらい③3人 すごい！</p>
<p>もうひとつ見てみます。</p> <p>2018年の火事は？</p> <p>3件のうち全焼は何件でしょう？①3件②2件③0件</p>	<p>① 3人くらい②10人くらい③10人くらい</p>
<p>正解は、、、</p> <p>なんと0件。どう？</p>	<p>すごい。</p>
<p>板野町は火事が起きているんだけど全焼はこのようになっています。では今日はそんな板野町の火事。どんなふうにして守っているのか考えてもらいます。</p>	
<p>めあてを読みましょう。さんはい。</p>	<p>どのようにして火事から板野町を守っているのだろう。</p>
<p>めあてをワークシートに書きましょう。</p>	<p>書いている</p>
<p>めあてをもう一度読みましょう。</p>	<p>どのようにして火事から板野町を守っているのだろう。</p>
<p>では、さっきも見てもらったグラフ、火事は減っていましたね。ここの全焼も？4件中？3件中？</p>	
<p>こんなにも火事が減っている。</p>	

<p>全焼が0件、これなんで？だれが何をしているのだろうか？何でと思う？1分、隣の人と予想してみましょう。</p>	<p>消防士さんが早く来たから？ (話し合っている)</p>
<p>相談できましたか？誰がどのようにして守っている？</p>	<p>全焼の前の半焼の時に、家が燃えていることに気がついた誰かが消火器をもって消している。</p> <p>消防署や消防団の人が半焼の時にかけつけてくれている。</p> <p>地域の人たちが、タバコやコンロに気をつけて使っている。</p> <p>地域の人たちがたばことか、たき火とかコンロを気をつけて使っている。</p> <p>もし火事が起きたら、消防署と消防団の人が協力して火を消している。</p> <p>火事から板野町を守るために、消防団の人が、防火を呼びかけて火事を起こさないようにしている。</p> <p>消防署の人が、日頃から訓練や点検をしているので、いち早く駆けつけている。</p> <p>学校も火事にならないように、設備をつけている。</p> <p>火災警報器や、熱感知器を使って火事が起こっても消火がすぐできるようにしている。</p> <p>全焼になる前に、消防署の人に連絡して、7分くらいでかけつけて、その後消防団の人が駆けつけて、消防署の人が前から消して、その後消防団のひとが消火栓で消している。</p>

<p>他にありませんか？</p> <p>誰が言っていますか？</p> <p>まだ他にありませんか？</p> <p>これ何通報？ 119番ですね。 だから火事を防ぐことができますね。 連絡を通信指令室からしていますよと言っていました。全部</p>	<p>消防署の人が、学校に来て、訓練をしたりしているからです。</p> <p>私も似ていて、学校の設備は年に一度点検してくれるといているので、学校が火事になったらすぐに火を消せる。</p> <p>学校に消防署の人が来て、訓練を学校の人たちは訓練してもしも火事とかが起きたら、学校の人が逃げれるように訓練をしている。</p> <p>資料5を見てください。1秒でも早く、火事の現場にかけつけられるように夜も交代で見守っているから、全焼の火事が少ないのだと思います。</p> <p>消防署の人もいっぱいいるけど、消防団の人たちも1万何人いるけど、消防団の人がいっぱい来て後ろからきているので早く消せると思います。</p> <p>1秒でも早く現場にかけつけるために、1班2班3班と分かれて、他の人と夜も交代で勤務すると言っていました。</p> <p>僕のお父さん。</p> <p>資料1を見てください。消防団や消防署だけでなく、ガス会社や電力会社もきてくれるからです。</p> <p>消防署がいったから、通信指令室から他の消防署や救急車とか消防団、警察、病院、役場、電力会社、ガス会社、水道会社とかを読んで、火事を消している。</p>
--	---

<p>が？</p> <p>全部が協力しているから、火事から守っているんですね。だから守られていると先生も思います。では、みてほしいグラフがあります。</p> <p>2018までのグラフは見ましたね、みんなで協力して火事を守っている。</p> <p>の、続き、</p> <p>2019年を見てください。</p> <p>火事は何件？</p> <p>2020年は？</p> <p>今途中なんだけど、2021年は？</p> <p>どう思う？</p> <p>まだ11月だから増えるかもしれないよね。これでいい？どうしたらいいんだろう。何とかできんかな？</p> <p>そうですね。みんなにできることもありそう？じゃあこの協力でプラスして自分たちにできることはありますね。ワークシートに自分たちにできることを書いてください。その後、</p>	<p>協力している。</p> <p>4件</p> <p>5件</p> <p>6件</p> <p>増えたり減ったりしている。</p> <p>最初は11件から上たり減ったりしていたけど、2018～2021年までだったら3なのに、増えています。誰かが守ってない。</p> <p>2018年の火事の件数は3件なのに、2019、2020、2021はその3件より上に行っています。</p> <p>2021年はさらに増えるかもしれない。</p> <p>家事やコンロとか火遊びをなるべく控え目にする。</p> <p>消防署や消防団がコンロや火遊びやタバコを控えめにするようにいろいろなところに警察署も協力している。</p> <p>原因はタバコと焚き火とコンロだし、あと消防署や消防団の願いは、火遊びをしないとか、花火をする時は大人と一緒にとか言っていたので、火遊びとかするときにはなるべく大人と一緒にする。</p>
--	---

<p>こんなことできるなあということを書いてください。5分</p> <p>自分たちには何ができますか？</p>	<p>(書いている)</p> <p>自分たちにできることは、学校の消防設備の前にもものを置かないようにすることです。そのわけは、教頭先生が言っていたように学校にはたくさんの消防設備があり。その前に物を置くと火事の時に出しにくくなってしまいますからです。</p> <p>火事が起きたら、大人をよんで119番に電話してもらってください。そのわけは子供は携帯電話を持っていないからです。</p> <p>自分たちにできることは、火遊びとか花火は大人とすることです。そのわけは、火遊びをしていると近くの家にも風が吹いてうつってしまうかもしれないからです。大人の人と花火をしなきゃいけないわけは、友達としていたら木とか家に当たったら燃えるからです。あと、消火栓の上に物を置くとどこに消火栓があるかわからなくなって、もしも火事が起こったらわからなくてどんどん燃えていくかもしれないからです。</p> <p>僕は花火や焚き火やコンロは大人とすることです。消防署や消防団を困らせているので、花火や焚き火のように火事の原因を減らすことができると思ったからです。</p> <p>火遊びをしている人がいたら注意をすることです。警察署は、交通整理をされていて、消防署も消防団も道具の点検や訓練などをしているので、そんな時に火事が起こってもすぐにいけないので、困らせないように、火事が起こらないように気をつける。</p> <p>火を使う時は、大人と使うことです。子供だけで使ったら全焼になってしまうかもしれないからです。学校に火事が起きたら消火器などで消したら安全だけ</p>
---	--

<p>こんなにたくさん、みんなにできることがありますね。学校、と自分たち、地域、消防署の人が協力したら？</p> <p>火事が起きないかもしれませんね。</p> <p>消防団の岡さんも言っていたし、教頭先生も教えてくれました。私たちもそれに加われば、火事が0件になるかもしれないです。先生もそうしていきたいと思います。</p> <p>本日のまとめ、考えてください、「消防署は」の続き。どのようにして火事から身を守っとる？</p>	<p>ど、消さなかったら全焼になるかもしれないから。あと、消火器の前に物を置かないようにする。火事になった時にすぐに用意ができるからです。</p> <p>火遊びをしないことです。そのわけは、もし火遊びをして火事が起きたらもう命がないかもしれないからです。</p> <p>火を使う遊びはあまりしないことです。そのわけは、もし友達と花火をしていて火がついて半焼から全焼になるのは10分だから、早いから、見つけたらすぐ大人に言って火を消してもらおう。</p> <p>火事を見つけたら大人に言うことです。大人に119番に連絡してもらおう。</p> <p>火遊びをしないです。消防署や消防団の人も言っていたように、原因はコンロや焚き火や火を使うことが原因になっているので、火を使うときは大人の人と一緒に使うようにすることです。教頭先生がホースとかの前とかに物を置いたりすると、開かないようになるから置かないようにする。</p> <p>消防署は、自分たちや地域の人々、消防団や学校とかは、訓練をしたり、逃げるために防災訓練をしたり、火遊びをしないようにしたり、消火栓の前に物を置かないように注意をしたりしている。</p> <p>消防署は地域の人々や消防団の人たちと協力して火を消したりしている。</p> <p>電力会社やガス会社警察署や役場や病院で全部が協力している。</p> <p>119番の仕組みの中で、通信司令室でガス会社や病院や他にもある。他にも先生もしている。</p>
--	---

<p>地域の人や、消防団。他には？</p> <p>その通り、振り返りを書いてください。</p> <p>そうしたら0件になる？かもしれないけんそうしていきたいね。授業を終わります。</p>	<p>先生とか、地域の人々が協力して、自分たちも協力して、消防署や消防団に手間をかけないようにしている。</p> <p>今日の学習で、消防署や消防団にできることだけでなく自分たちにできることもあるのだなと思いました。</p> <p>自分たちで火事を起こさないようにすることを学びました。火事の件数をゼロ件にするにはどうすればいいのかもっと考えてみたいです。</p> <p>自分たちも火事を起こさないために大人の人と火を使う時は一緒にしたいです。</p>
---	--